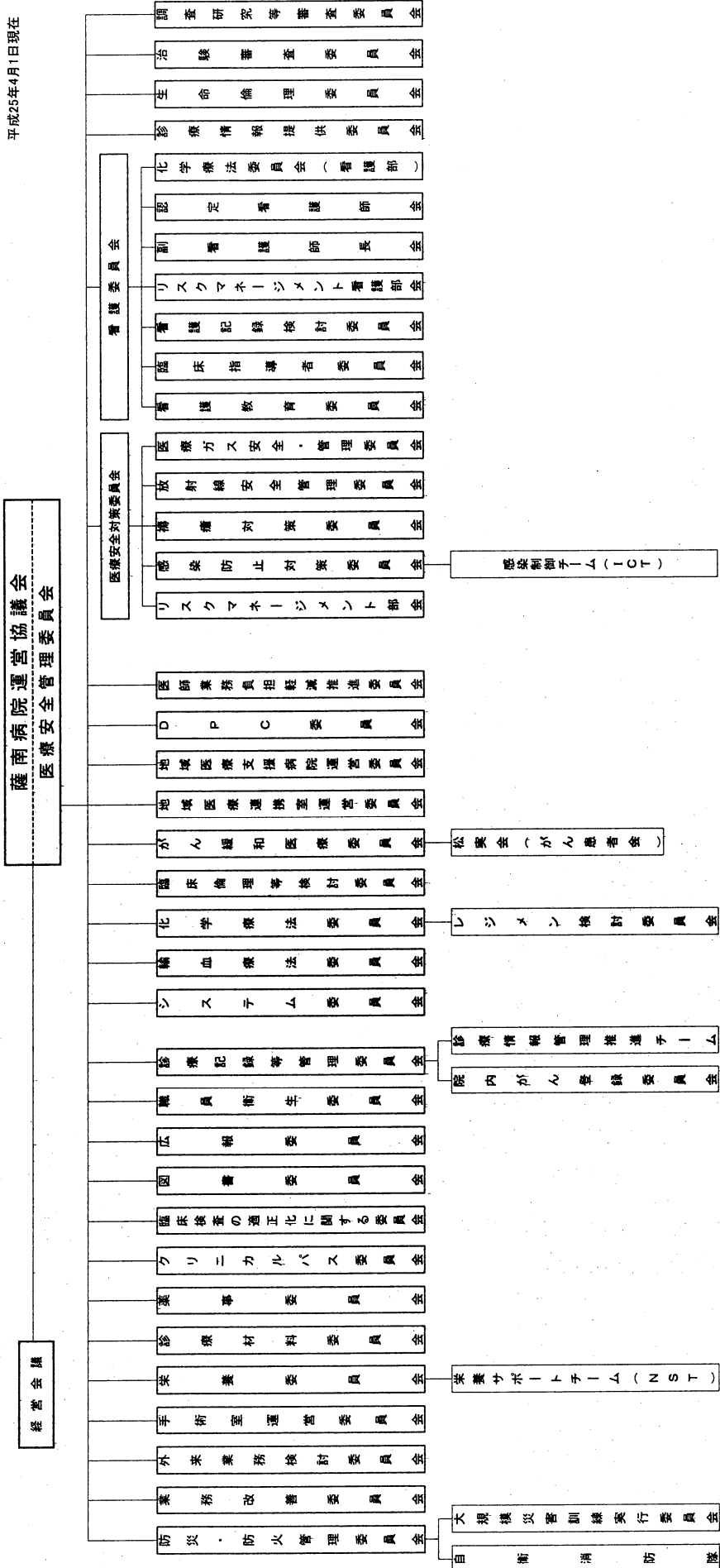


平成25年4月1日現在



## 6 (1)-1 栄養委員会

### 1. 目 的

給食が患者の疾病の治癒・回復の役割を担うため、その運営が円滑かつ適切に進められるよう給食に関する事項について協議する。

### 2. 委 員

内科部長，外科部長，総看護師長，事務次長，経営課長，副総看護師長，外来看護師長，病棟師長，中材・手術室看護師長，人工透析室看護師長，栄養管理室長，管理栄養士，調理員

### 3. 活動報告

#### 1) 24年度第1回栄養委員会

開催日：平成25年3月26日（火）

内 容： ・入院基本料に係る栄養管理計画書の取扱いについて  
・特食加算に係る食事オーダーについて  
・栄養食事指導料算定に係る医師の指示について  
・NSTマニュアルの策定について

## 6 (1)-2 栄養サポートチーム（NST委員会）

### 1. 目的

入院患者の栄養摂取に関する栄養評価を行い、適正な栄養状態に導けるように栄養管理介入を実施する。

### 2. 委員

医師，担当看護師長，各病棟看護師，管理栄養士，栄養管理室長，薬剤師，臨床検査技師，理学療法士，経営係長，WOC看護師，外来看護師

### 3. 活動報告

#### 1) NST委員会 毎月1回開催

- ・カンファレンスの実施及び結果報告
- ・NSTマニュアルの検討（嚥下訓練チェック表を含む）
- ・NST研修会の開催及び分析

#### 2) NST全体研修会

##### <第1回NST全体研修会>

開催日：平成24年6月12日

参加者：68名

テーマ：「栄養は食事の基本」

講師：古城委員「NST委員が勧める食事変更のタイミング」  
恵 医師「GFOにより加療した急性腸炎の2症例」

##### <第2回NST全体研修会>

開催日：平成24年12月11日

参加者：77名（院内55名、院外22名）

講話内容（講師：鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 西 准教授）  
「口腔ケアと摂食・嚥下リハビリテーションの実践」

##### <第3回NST全体研修会>

開催日：平成25年3月12日

参加者：66名（院内43名、院外23名）

講話内容（講師：岡山大学病院 歯科衛生士室 住吉 歯科衛生士）  
「急性期病院での口腔ケアの実践」

#### 3) 学会発表

- ・第4回日本静脈経腸栄養学会（九州支部会）  
向井 露子：当院のNST活動と今後の方針
- ・第48回鹿児島県立病院学会（ポスター発表）  
古城美紀：当院のNST活動と今後の方針

## 6 (1)－3 クリニカルパス委員会

### 1. 目的

クリニカルパスの利用促進により，インフォームドコンセントの充実及び医療の標準化，質の向上，患者満足度の向上を図る。

### 2. 委員

担当医 2 名，薬剤師，臨床検査技師，放射線技師，栄養士，理学療法士，各部署看護師 1 名，担当看護師長 1 名，経営課

### 3. 活動報告・実績

- 1) 毎月第 1 木曜日（16：00～17：00）開催。
- 2) 平成 23 年 10 月の電子カルテ導入に伴い，ソフトマックス社からパステンプレートの作成手順を学び，病棟ごとに使用頻度の高いパスから作成した。電子カルテ用パスは，25 例が運用されている。
- 3) 電子カルテでのバリエーション評価ができるように，ソフトマックス社の指導を受け作成している。
- 4) 院内クリニカルパス活動報告  
日 時：平成 25 年 3 月 7 日（木）17：30～18：00  
内 容：クリニカルパス委員年間活動報告・今後の課題
- 5) 研修会等参加状況  
全国クリニカルパス大会出席（医師 1 名・看護師 3 名）

## 6 (1) -4 がん緩和ケアチーム (PTC)

### 1. 目的

緩和医療チームとして、がん患者の体や心の苦痛症状の緩和、病名告知や病状説明の理解の促進、患者の適切な療養の場の提案、院内スタッフへの緩和ケアの研修会の開催などを行う。

### 2. 委員

医師、総看護師長、副総看護師長、外来看護師、各病棟看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療福祉相談員、経営課

### 3. 平成 24 年度目標

- 1) 多職種で協働し、患者・家族の QOL を高めることができる。
  - ① 多職種でカンファレンスをおこない、チームアプローチを充実させる。
  - ② 患者・家族のたどる経過を捉え、必要と予測される資源（多職種との連携・社会資源の活用など）を活用できる。
- 2) 職員の緩和ケアに対する知識のレベルアップをおこなう。
  - ① 院内で、緩和ケアに関する研修会を開催する。(年 2 回)
  - ② 院外の研修会へ積極的に参加する。
  - ③ 年度末活動報告会のテーマは「チーム医療」とする。

### 4. 活動報告

- ① 毎月第 4 水曜日の 16 時から定例会議を開催した。
- ② 毎月第 2 火曜日の 7 時 45 分から朝カンファを開催した。(表 1 参照)

(表 1)

開催月日	担当病棟	内 容	参加人数
H24 年 4 月	外 来	「積極的治療中止」に対する看護師と患者の理解のずれについて	19 名
5 月	1 病棟	デスカンファレンス「早期の合同カンファレンス」の重要性について	18 名
6 月	2 病棟	自己主張の強い患者への関わりについて ～穏やかに最後の時を迎えてもらうには～	13 名

開催月日	担当病棟	内 容	参加人数
7月	3病棟	退院支援を通して、それぞれの職種・部署での役割を考える。	19名
8月	外 来	在宅で過ごすことを希望した患者・家族への支援 ～揺れる家族の気持ちに寄り添って～	10名
9月	1病棟	家族間への介入の難しさについて ～親の介護を一人で背負っている息子への支援～	16名
10月	2病棟	転倒リスクが高い患者の自尊心を傷つけない関わりについて	16名
11月	3病棟	転院後、病状の進行が早い患者へのケア ～効果的な情報収集の仕方について～	17名
12月	外 来	訴えの少ない外来患者へのケアについて	15名
H25年1月	1病棟	呼吸困難が強く頻回にナースコールを鳴らす患者への対応について	17名
2月	2病棟	医療者に対し不満や要求が多い家族との関わりについて	17名
3月	3病棟	化学療法を開始しながらも、他の治療に対し気持ちが揺れている患者との関わりについて	19名

- ③ 2病棟で毎週木曜日午後2時から多職種による「緩和カンファレンス」を開催することができた。
- ④ 院内で研修会を2回行った。
- (1) レスキューを使いこなすためのナースの基礎知識
  - (2) がん性疼痛について
- ⑤ 鹿児島県緩和チーム研究会に参加した。(6月, 10月, 3月)
- 6月：事例発表
- ⑥ スピリチュアル学会に参加した。(チーム員4名)
- ⑦ 毎月担当部署のチーム員が、松実会の手伝いを行った。
- ⑧ 県立病院学会でチームの活動報告を行った。
- ⑨ 平成25年1月に、「チーム医療」に関する24年度の活動報告会を行った。

## 平成 24 年度「がん患者と家族の会 松実会」活動記録

ボランティア 参加者の内訳	松実会の会長・前看護部長・リンパマッサージ施行者・園芸指導員・ タオル帽子作成の指導者・当院を退職した看護師と看護助手・当院で がんにより夫を亡くした家族・砂像連盟会委員・砂の祭典実行委員会 の皆さん
------------------	---

### (1) 《 定例活動 》

月 日	イベント名	参加者数
4 月 12 日	「 クラリネットロビーコンサート※語り合い 」 ・クラリネットアンサンブル「goodgood」の 4 名の皆さんの好意 で演奏会を開きました。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 19 名〕
5 月 10 日	「 花札🎴語り合い 」 ・和気あいあいと楽しみました。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 17 名〕
6 月 14 日	「 砂の砂像作成★語り合い 」 ・吹上浜砂の祭典実行委員会の皆様と共に「宝玉と龍」を作 りました。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 40 名〕
7 月 12 日	「 セタつくり&あしのマッサージ✂️語り合い 」 ・願う事を短冊に託しました。飾りつけをして病棟に届けまし た。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 21 名〕
8 月 9 日	「 タオル帽子作り&あしのマッサージ※語り合い 」 ・地肌にやさしい帽子をプレゼントしました。	職員・ボランティア・入院患者 〔合計 12 名〕
9 月 13 日	「 タオル帽子作り&あしのマッサージ🎨語り合い 」 ・明るい色のカラフルな帽子が出来ました。	看護実習生・ボランティア・入 院患者・外来患者・家族 〔合計 18 名〕
10 月 11 日	「 フラワーアレンジメント※語り合い 」 ・フラワーアレンジメントに挑戦して楽しい時間を過ごしまし た。	職員・ボランティア・入院患者・ 外来患者・家族 〔合計 44 名〕
11 月 8 日	「 あし湯・あしのマッサージ🎶語り合い 」 ・リラックスしました。	職員・ボランティア・入院患者・ 外来患者・家族 〔合計 36 名〕

月 日	イベント名	参加者数
12月13日	「砂の砂像作成★語り合い」 ・吹上浜砂の祭典実行委員会の皆様と「干支の巳と七福神」を共に作りました。宝船と初日の出と願掛けの神社も彫ってくださいました。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 40 名〕
1月10日	「タオル帽子作り&あしのマッサージ👉語り合い」 ・男性の方も上手に縫い上げました。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 25 名〕
2月4日	「あし湯・あしのマッサージ👉語り合い」 ・リラックスしました。	職員・ボランティア・外来患者・ 入院患者・家族 〔合計 35 名〕
3月8日	「花札🌸語り合い」 ・和気あいあいと楽しみました。	職員・ボランティア・入院患者・ 外来患者・家族 〔合計 15 名〕

(2) 《 トピックスほか 》

月 日	イベント他	内 容
9月15日～16日	ドルフィンポートで「命のリレーウオーク」に参加。	参加者は看護師と事務職員 10 名。
7月・10月・3月	タオル帽子用のタオル代金の寄付。	院内同好会「まつみかい」よりチャリティ。
1月	募金	5 年間にわたり病気の回復を願って黒糖酒の 3 升瓶に募金してきた方から頂きました。
(ボランティア)	・イベント時アロママッサージをしてくださいます。	



## 松実会活動のフォト記録



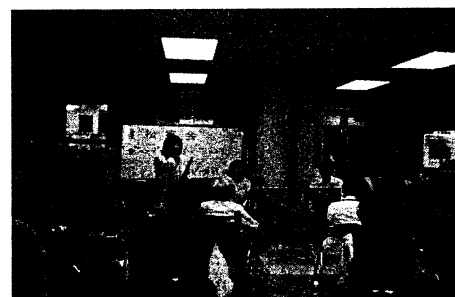
① あし湯



② タオル帽子製作



③ フラワーアレンジメント



④ クラリネットコンサート



⑤ セタづくり



⑥ 命のリレーウォーク



⑦ 砂像制作 (宝玉と龍)



⑧ 砂像制作 (干支の巳と七福神)

## 6 (1)－5 院内感染制御チーム (ICT)

### 1. 目的

院内感染対策委員会の下部組織として現場の実働部隊の役割で院内感染対策に取り組んでいます。全職員を対象に感染対策に関する教育・啓蒙活動を行い、現場での感染対策が円滑かつ継続的に取り組んでいくことを目的に活動しています。

### 2. 構成メンバー

- ・ チーフ：宮菌消化器外科部長 ・ サブチーフ：梶原中材・手術室看護師長
- ・ 委員：感染管理認定看護師 大森由香  
大井循環器科医師，田中呼吸器内科医師，  
野間放射線技師長，神野薬剤師，狩元検査技師，郡山副総看護師長，  
今村専門員(経営課)
- ・ リンクナース委員(看護師)：長崎奈穂，板敷真由美，重松和代，上木原敏子  
上島まち子，内原奈津子，大山好子，脇田みどり  
中崎唱子，田中麻友，中屋真由美，市坪礼子

チーフを医師，サブチーフを手術室師長が担い医局2名・看護部8名・放射線部・薬局・検査・事務各1名でICT委員会を月1回の会議として運営しています。

### 3. 活動

(1) 感染に関する職員への教育，啓発活動があります。年2回の院内感染対策研修会を企画，運営しました。感染対策の基本は手洗いにあると言われ，標準予防策の遵守が重要です。6月に外部講師による学習会を全職員対象に実施しました。

◆第1回 平成24年6月26日(17:30～18:45)参加者59名

講師：キンバリー・クラーク・ヘルスケア・インク 野中 望先生

内容：「標準予防策について」

- ・ 感染予防策について
- ・ 個人防護具の着脱の実技実施

◆第2回 平成25年1月22日(17:30～18:30)参加者35名

講師：ICT委員(看護師：板敷，薬局：神野，感染認定看護師：大森)

内容：・ ICT年間活動報告

- ・ 抗菌薬適正使用について
- ・ ノロウイルスとインフルエンザについて
- ・ リンクナース活動報告

※研修会参加出来なかった職員に関しては，研修内容資料を回覧し周知を行った。

## (2) サーベイランス

- 1) 抗菌薬使用密度AUDを毎月報告し、抗菌薬の使用状況の把握を行います。ICTとICCで報告すると共に院内掲示板に掲示し、使用状況の周知を行っています。
- 2) 院内感染情報を週単位で報告し、把握を行っています。患者情報の収集を行い、必要時病棟ラウンドを不定期で行いました。
- 3) 標準予防策の遵守状況の把握として基本となる手指衛生（速乾性手指消毒剤の使用状況）を毎月報告し、使用の徹底を行いました。
- 4) ターゲットサーベイランスの開始
  - ①中心静脈カテーテル
  - ②尿留置カテーテル
  - ③手術部位感染以上の①、②、③を開始するため、看護師対象に3日間の研修会を開催し、6月より開始した。  
3月に各病棟単位で集計結果を報告した。
- 5) 各セクションラウンドを行っています。器材の洗浄・消毒・乾燥、スタンダードプリコーションや日常清掃の方法などの得られた情報から、マニュアルの遵守状況把握とマニュアルが実践可能かなどの改善点を検討します。また感染患者情報をもとに気管内挿管・CV・経過・症状・培養検査・抗菌薬の使用状況、環境感染対策の実施状況の確認を行い、感染対策へのコンサルテーションを行っています。
- 6) ノロウイルスやインフルエンザの発生状況把握、感染対策指導、終息状況把握。

## (3) 感染対策マニュアルの整備・見直しをリンクナースと共同で行っています。

平成24年度は

- 1) 院内感染対策マニュアルの見直し  
・8：疾患別感染対策を中心に改定した。

## (4) リンクナースの活動

- 1) 速乾性手指消毒薬の使用状況のチェック（毎月報告）
- 2) 年2回の手洗いチェック
- 3) 年4回の標準予防策と環境ラウンド
- 4) ICTラウンド資料作成
- 5) 部署内感染対策指導

以上の活動を図りながら、研修会への参加を行い自己研鑽に努めています。

平成24年度は、感染管理セミナー（4回シリーズ）にリンクナース2名、日本環境感染学会へ看護部から4名、薬局から1名が参加し、院内教育へ活かしています。

## 4. その他

平成24年度は“ICT便り”を6回発行し、インフルエンザ、ノロウイルスなどに関することを提示し、教育・啓蒙活動を行いました。

## 6 (1) - 6 褥瘡対策委員会

### 1. 目的

当院における褥瘡対策の適切な推進を図る。

### 2. 委員

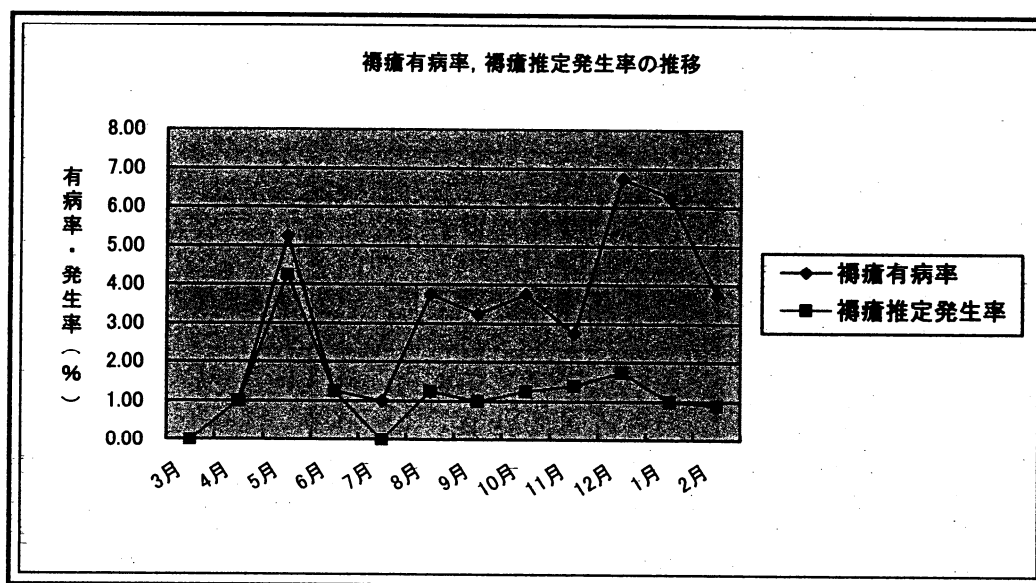
医師，副総看護師長，病棟師長，各病棟看護師，経営課，栄養士，薬剤師，皮膚・排泄ケア認定看護師

### 3. 目標

- 1) 褥瘡の新規発生を 20 件以内にする。
- 2) 機能評価に向けての取り組みを行う。

### 4. 活動実績

- 1) 褥瘡推定発生率：平均 1.25%



#### 2) 研修会

第1回：ポジショニングの実際

第2回：褥瘡対策とスキンケア ～シャボンラッピングって？～

第3回：各病棟別褥瘡発生報告

## 6 (1)－7 教育委員会

### 1. 目的

専門職業人としての資質を高めるとともに、看護技術の向上及び看護実践能力の向上を図るため、計画的に現任教育を行う事を目的とする。

### 2. 活動実績

#### (1) 委員

副総看護師長兼看護師長 1名 看護師長 1名  
副看護師長教育担当（病棟，外来，透析，中材・手術室）

#### (2) 定例会

毎月第2月曜日（15：00～16：00）

#### (3) 内容

- 1) 看護研究，院内研修会の企画・運営
- 2) 院外研修会，学会参加への援助
- 3) 看護部門各セクション別学習計画の企画・運営
- 4) ラダー別研修の企画・運営

(1)ラダー1	(2)ラダー2	(4)ラダー4
5月22日	2月25日	5月24日
1ヶ月の振り返り研修	ケース スタディの発表	研修目標オリエンテーション
6月18日	(3)ラダー3	11月5日・12日
3か月の振り返り研修	5月18日	ナラティブを語る・聞き手の力を身につけよう
9月18日	研修目標オリエンテーション	
6か月の振り返り研修		
12月17日	10月15日	(5)ラダー5の①
ケース スタディのまとめ かた説明	ナラティブを語る「あの時私が 泣いた・笑った・うれしかった ・・・学んだ経験を伝えよう」	12月13日
2月25日		ナラティブを語る
ケース スタディの発表	12月17日	(5)ラダー5の②
(2)ラダー2	ケース スタディのまとめかた 説明	倫理的問題解決のための看護 長小集団活動の取り組み
12月17日		
ケース スタディのまとめ かた説明	2月25日	
	ケース スタディの発表	

- 5) 新人看護職員研修の企画・運営を新人看護職員卒後研修ガイドラインに沿って行う  
6) 看護補助者研修の企画・運営

① 《平成 24 年度 看護補助者研修・実績》

	開催日	内 容	担当教育委員	参加者
第 1 回	6 月 19 日・20 日	看護技術について	3 病棟・中材・手術室	15 名
第 2 回	7 月 10 日・11 日	接遇・個人情報について	1 病棟・外来	16 名
第 3 回	8 月 22 日・23 日	医療安全・感染対策について	2 病棟・外来	16 名

② 《平成 24 年度 共通学習計画・実績》

回	開催時期	内 容	講 師	参加者
1	4 月 26 日	看護研究計画書について	鹿児島純心大学看護学科准教授 七川 正一先生	54 名
2	5 月 16 日	総師長講話・看護必要度研修	川上総看護師長 坂口（外来） 永尾（1 病棟）	73 名
3	6 月 19 日	DPC について	経営課 池田	51 名
4	7 月 23 日	看護研究計画書添削指導	鹿児島純心大学看護学科准教授 七川 正一先生	43 名
5	8 月 3 日	ナラティブは看護者の看護財 産～共有しようあなたのナラ ティブ～	博康会 なかむら内科病院 中村 育美看護部長	90 名
6	9 月 20 日	固定チーム中間発表会～デー タ分析に裏付けられた小集団 活動～	各部署小集団で発表形式	65 名
7	10 月 31 日	看護と倫理	鹿児島純心女子大学看護学科教授 小湊 博美先生	48 名
8	12 月 3 日	BLS と AED	南さつま市消防署 救急隊員	46 名
9	2 月 7 日	看護研究発表会	鹿児島純心大学看護学科准教授 七川 正一先生	55 名
10	3 月 17 日	固定チーム活動発表会	固定チームナーシング研究所 西元 勝子先生	66 名

③ 《平成 24 年度 新人看護職員研修》

既卒新規採用者 2 名に対して、新人看護職員ガイドラインに沿って、副師長が講師となり、研修を行った。

(4) 教育の評価と課題の検討

平成 24 年 1 月に県立 5 病院で統一した教育研修計画へのアンケートを実施し、次年度の教育計画を立案した。

(5) 院外学会発表

1) 第48回県立病院学会（平成24年10月27日）

**1 病棟**：「心不全患者の退院指導に対するリーフレット作成 ～看護師のアンケート調査をふまえて～」

**2 病棟**：「看護師が所持するハサミに付着している細菌の実態調査」

**3 病棟**：「活動制限のある患者への手洗い現状～手指清潔ケアへの定着に向けて～」

**手術室**：「適切な術中体温管理をするための取り組み」

**透析室**：「透析困難な認知症患者へのケア」

2) 固定チームナーシング研究会全校集会分科会（平成24年9月29日）

**手術室**：「適切な術中体温管理をするための取り組み」

**透析室**：「透析困難な認知症患者へのケア」

3) 第7回鹿児島地方会 固定チームナーシング研究会（平成24年12月2日）

**3 病棟**：「続、お口ぴかぴかチームの取り組み」

## 6 (1)－8 臨床指導者会議

### 1. 目的

看護学生の臨地実習において、安心して安全に実習が展開できるように指導法、環境調整などを検討する。

### 2. 委員

副総看護師長兼看護師長 1 名，看護師長 1 名，各病棟看護師 1 名

### 3. 活動

毎月第 4 木曜日（14：00～15：00）

- 1) 実習校と打ち合わせ，実習受け入れの準備・環境調整をする。
- 2) 看護実践の場，カンファレンスで学生へ助言及び指導をする。
- 3) 実習を振り返り実習目標の達成状況について学校と評価する。

### 4. 実績

- ① 各病棟臨地実習オリエンテーション手順を見直す。
- ② 臨地実習の基礎・専門過程，学年ごとに事前打ち合わせを実施。
  - ・鳳凰高等学校（基礎過程 1 年生，2 年生，3 年生）（専門過程 1 年生，2 年生）
  - ・鹿児島医療専門学校 1 年生（基礎看護学実習 I－1，I－2）  
2 年生（基礎看護学実習 II）
- ③ 臨床実習毎に実習評価表を用い，情報の共有と課題について検討。
  - ・評価項目：対人関係，看護過程の展開，看護ケアの実際，実習態度，課題。
- ④ 実習指導に対する評価のアンケート 7 月，2 月に実施。
  - ・今後，改善・注意する項目等検討，考察を行う。
- ⑤ 4 月 23 日 鹿児島医療福祉専門学校「看護学科臨地実習指導者会議」（4 名出席）。
- ⑥ 6 月 27 日 鹿児島医療福祉専門学校「基礎看護学実習 I－1 まとめの会」（2 名出席）。
- ⑦ 7 月 11 日 鹿児島医療福祉専門学校「基礎看護学学習 I－2 まとめの会」（2 名出席）。
- ⑧ 8 月 17 日 鳳凰高等学校「実習病院・高校連絡協議会」（4 名出席）
- ⑨ 11 月 26 日 鹿児島医療福祉専門学校「基礎看護学学習 II まとめの会」（2 名出席）
- ⑩ 部署オリエンテーション要綱を見直し，一部改定した。



## 6 (1)－9 看護記録検討委員会

### 1. 目的

看護師によって記述されている患者の公的な業務記録である。患者の治療や看護に必要な情報とケアの計画，実施したケアの内容と評価及び経過の要約である。

- 1) 看護実践を証明する。
- 2) 患者に提供するケアの根拠となる。
- 3) チーム医療におけるチームメンバー間の情報交換の手段となる。
- 4) 施設の設立要件や診療報酬上の要件を満たしていることを証明する。
- 5) 医療事故や医療訴訟の際の法的資料となる。
- 6) 看護ケアの質評価やケア向上開発の資料にする。

### 2. 目標

- 1) 機能評価に向けてフォーカスチャートィングを定着させ，監査を実施する。
- 2) 看護必要度を看護記録に反映させた記録の定着を図る。

### 3. 委員

- ・ 3病棟看護師長（金竹）
- ・ 各部署看護師（増永，草野，鮫島，今給黎，永仮，寺園，宇都）

### 4. 活動報告・実績

- ・ 看護記録マニュアルの改訂を行った。
- ・ 自己監査を6月，1月の年2回実施。委員監査を8月，1月の年2回実施した。
- ・ 質の監査表を作成し，1部署1事例の監査を実施した。
- ・ フォーカスチャートィングの全体研修会を記録委員会全員で実施した。
- ・ フォーカスの看護記録について，記録委員による部署別学習会を実施した。

#### 《年間記録監査状況》

	1病棟	2病棟	3病棟	平均値
計画の修正，評価	81.9%	74.3%	87.5%	80.8%
退院時看護サマリーの作成	95%	99.6%	94.8%	96.4%
患者参画型看護計画の作成	98.2%	97.7%	96.7%	97.5%
入院時診療計画書説明	95.6%	98.6%	97.1%	97.2%
ケアプランの作成	99.1%	94.3%	93.2%	96.3%
入院生活説明	99.7%	100%	100%	99.9%

## 6 (1)－10 副看護師長会

### 1. 目的

専門職としての接遇の向上及び啓発活動，入院患者の生活環境を整える事を目的とする。

### 2. 委員

各セクションの副看護師長，副総看護師長，副総看護師長兼1病棟看護師長

### 3. 平成24年度目標

患者さんが入院生活を心地よく送れるように環境を整える。

### 4. 活動報告・実績

(1) 定例会：毎月第2木曜日（15:00～16:00）

(2) 内容：

#### 1) 接遇アンケートの実施

- ① 看護職員へ接遇アンケートを5月と11月の2回実施した。
- ② 結果を各部署全員へ周知し，ワースト項目に関して部署毎での検討を行った。

#### 2) 身だしなみアンケート実施

- ① 看護職員へ身だしなみアンケートを8月と12月の2回実施した。
- ② 結果を各部署全員へ周知し，ワースト項目に関して部署毎での検討を行った。

#### 3) 美化ラウンドの実施

毎月場所を決め委員でラウンドし，環境面の改善を行った。

ラウンド場所は以下のとおり

- ・正面玄関～裏口（4月・7月・12月）
- ・器材庫（9月）
- ・廊下（10月）
- ・ナースステーション（1月）

#### 4) 啓発活動

- ① 挨拶強化月間：正面玄関と職員通用口にて朝の挨拶運動（7:45～8:15）を1週間実施。
- ② 標語掲示：月ごとの標語を各セクション・更衣室へ掲示。
- ③ 笑顔強化月間：ニコニコマーク作成・配布。
- ④ 整理整頓強化月間：各セクション，整理整頓を行った。

## 6 (1)－11 リスクマネジメント部会

### 1. 目的

部会は、医療安全管理委員会の求めに応じて、次の事項について調査研究・検討及び企画・立案を行う。

- 1) ヒヤリハット・アクシデント事例の原因の分析，並びに事故予防策の検討及び提言に関すること。
- 2) 医療事故の原因の分析，並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- 3) 医療事故に関する諸記録の点検に関すること。
- 4) 医療事故防止の為の啓発・広報に関すること。
- 5) その他医療事故の防止に関する事項に関すること。

### 2. 委員 委員会の構成メンバーは以下のとおりである。

副院長，各診療科部長，副診療放射線技師長，副薬局長，副臨床検査技師長，副総看護師長，各副看護師長（リスク担当），理学療法室技師長，事務次長兼総務課長，栄養管理室長，主幹兼経営係長，総務係長

### 3. 活動報告・実績

(1) 定例会：毎月第2木曜日（ 16:00 ～ 17:00 ）

(2) 定例会での活動内容：

定例の部会では部署から提出されたヒヤリハット報告及びアクシデント報告の分析・対策検討を行った。

(3) 研修会の開催：

第1回 医療安全研修会

開催日：平成24年7月18日（水） 17:30～19:00

テーマ：「KYT（危険予知トレーニング）」

講師：NKSJ リスクマネジメント（株）医療リスクマネジメント部  
松良 基広 先生

参加者：69名参加（当日）参加率45.1%

第2回

開催日：平成25年2月14日（木） 17:30～19:00

テーマ：「各セクションの1年間の取り組み」

医療安全管理室，リスクマネジメント看護部，経営課，栄養管理室  
リハビリテーション部，検査部，放射線部，薬局

参加者：69名参加

(4) 内部監査：内部監査は以下の内容で行った。

回数	時期	内容・結果
第1回	7月	共通チェック項目 各部署チェック項目
第2回	12月	共通チェック項目 各部署チェック項目

内部監査後は、各セクションへ改善要求。改善依頼し、結果を再度ラウンドして部会へ報告した。

(5) 医療安全推進週間の取り組み 11月25日(日)～12月1日(土)：

- 1) 院内へ医療安全に関する啓発の標語を募集した。
- 2) 40題の標語が各セクションから集り、院内展示し投票を行った。
- 3) 院長賞「確認が患者とあなたを守ってる」は平成25年の院内医療安全標語として各セクションに表示した。

## 6 (1)－12 リスクマネジメント看護部会

### 1. 目的

医療事故防止対策委員会の下部組織として、以下の活動を行うことを目的とする。

- 1) 看護部におけるインシデント報告やアクシデントレポートの評価分析、再発防止対策の検討・提言
- 2) 医療事故防止の為の啓発・広報
- 3) 看護職員の医療事故に関する研修などの教育企画
- 4) 安全対策に関する継続教育

### 2. 委員

各セクションの副看護師長（リスクマネジメント担当）

### 3. 平成24年度目標

- 1) 電子カルテへのインシデント・アクシデント報告がスムーズにでき、情報を共有し再発防止に努める。
- 2) 転倒・転落予防対策を強化しアクシデントを起こさない。
- 3) 5S運動を推進し、安全環境の確保に努める。
- 4) 機能評価受審にむけてのマニュアルの改定をする。

### 4. 活動報告・実績

- (1) 定例会：毎月第1火曜日（15:00～17:00）
- (2) 内容：
  - 1) 看護部安全マニュアル（看護部）の作成・見直しを行った。
  - 2) 内部監査：医療安全ラウンドはリスク全体部会と協力し年2回実施した。
  - 3) インシデント報告の分析：各月に自部署のインシデント報告を分析し報告した。  
ImSAFER分析法の学習会を実施し、事例分析を行った。
  - 4) 転倒・転落への取組：
    - ① 理学療法士とともに現場検証予防策等の検討を行った。
    - ② L字介助バー導入、基準を作成した。
- (3) 啓発活動：

医療安全管理室からの安全便りや医療安全情報にて、スタッフへ周知した。
- (4) 医療安全管理研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ：参加（2名）
- (5) 研修実績：
  - ① セクション内で学習会を開催：ヒヤリハット報告書について
  - ② 転倒・転落について学習会を開催した。
- (6) 医療安全研修会への参加：

転倒・転落の取り組みについて報告を行った。

## 6 (1) - 1 3 業務改善委員会

### 1 目的

院内各部門の業務を横断的に改善するための検討を行う。

### 2 組織

区分	職	氏名	備考
委員長	事務次長	池水康文	
委員	人工透析科部長	大橋保	医局
〃	技術主査	濱寄美穂	外来
〃	看護技師	永仮真美	中材
〃	看護師長	新徳良一	透析
〃	技術主査	久木野清子	透析
〃	技術主査	松野下里美	1病棟
〃	技術主査	河野由紀子	1病棟
〃	技術主査	佛淵みゆき	2病棟
〃	技術主査	三枝和子	3病棟
〃	副薬局長	若松良知	
〃	副診療放射線技師長	中山龍一	
〃	副臨床検査技師長	中野秀人	
〃	理学療法士	森菌真吾	
〃	総務係長	枇榔義寛	
〃	総務課専門員	福澤謙一	
〃	主幹兼経営係長	小濱吉秀	
〃	栄養管理室長	西之園明彦	

### 3 活動実績

回	開催日	検討事項
1	4月11日	連休期間中の薬局業務対応について
2	5月9日	CT, RI検査がある患者の血管確保について 管理栄養士の研修参加による勤務変更について 錠剤鑑別依頼方法について 消耗品等の授受方法について
3	6月13日	事務監査受検のための帳簿の整理について
4	7月11日	WindowsXPのサポート終了の対応について 化学療法室の増設工事について
5	8月8日	院内の掲示板の管理について 屋外街灯の交換について
6	9月12日	医療監視への対応について
7	10月12日	RI検査に伴うオムツの取扱いについて
8	11月14日	洗濯券の改善について 錠剤鑑別と調剤変更について
9	12月12日	年末年始の薬局業務, 栄養管理室について 夜間の心電図検査のオーダー入力について
10	1月9日	外来駐車場, 職員駐車場等のラインの引き直しについて
11	2月13日	輸血マニュアルの一部変更について 業務改善委員会の所掌事務の追加に伴う設置要綱等の改正について
12	3月13日	洗濯券の取扱いについて, 平成25年度研修計画と24年度研修実績の照会について

## 6 (1)-14 衛生委員会

### 1 目的

職員の健康障害の防止, 健康の保持増進, 労働災害対策等に係る事項を調査審議する。

### 2 組織

区分	職	氏名	備考
会長	院長	古川重治	
委員	事務長	奥幸三	
〃	総看護師長	川上百合子	
〃	事務次長	池水康文	衛生推進者
〃	技術主査	坂口智子	衛生管理者 (H24. 4. 1~5. 31)
〃	技術主査	大橋理恵	衛生管理者 (H24. 6. 1~)
〃	技術主査	市坪礼子	組合推薦者
〃	技術主査	當房朋子	組合推薦者
〃	看護技師	前田明子	組合推薦者
〃	調理員	田原いふみ	組合推薦者
〃	診療放射線技師	草野芳信	組合推薦者
〃	総合診療科部長	田中裕之	産業医

### 3 活動実績

回	開催日	内容 (特記事項)
1	4月18日	平成24年度事業計画, 職員健康診断について
2	5月16日	H B s 抗原抗体検査及び風疹・麻疹・水痘・流行性耳下腺炎抗原検査の実施計画, 電離放射線作業従事者健康診断結果 結核菌検出患者との優先接触職員の検診
3	6月20日	中材滅菌缶 (検査証番号1135オートクレーブ) 検査結果 院内結核患者発生に伴う事後経過検診, 公務災害の発生状況
4	7月18日	定期健康診断日程, 給食従事者検便実施結果, H B s 抗原抗体検査結果, 風疹・麻疹・流行性耳下腺炎抗原検査結果
5	8月15日	公務災害発生状況, 簡易専用水道 (貯水槽水道) 検査結果, 定期健康診断の実施日程, 結核菌検出患者との優先接触職員の検診
6	9月18日	院内結核患者発生に伴う胸部レントゲンについて, 給食従事者検便実施結果
7	10月16日	インフルエンザ予防接種実施日程, 院内10箇所のレジオネラ細菌検査結果
8	11月20日	ボイラー性能検査結果, 公務災害発生状況, 職員健康診断の脱漏検診
9	12月18日	公務災害の発生状況, 院内結核患者発生に伴う事後経過報告, インフルエンザ予防接種状況
10	1月15日	院内結核患者発生に伴う事後経過報告
11	2月19日	公務災害の発生状況, 結核病棟従事者及び深夜業務従事者検診, 職員2名のインフルエンザ同時罹患
12	3月19日	結核病棟勤務者検診実施・結果報告, ボイラー及び冷温発生器の窒素酸化物・ばいじん測定結果, 平成25年度衛生委員会委員の推薦について

※給食従事者検便実施結果, 職場点検チェックリスト, 公務災害発生状況は毎回報告。

## 6 (1)－15 医療安全対策委員会

### 1. 目的

県立薩南病院における医療の安全管理に関する取組の評価等を行うことを目的とする。

### 2. 委員

総括医療安全管理者(副院長), 医療安全管理者専従, 医薬品安全管理責任者, 医療機器安全管理責任者,

医療安全に係る委員会の代表

〔 リスクマネジメント部会:医療安全管理者専従兼務, 院内感染対策委員会, 褥瘡対策委員会, 放射線安全管理委員会, 医療ガス安全管理委員会 〕

### 3. 活動報告

1)定例会 毎週水曜日 ( 16:30～17:00 )

2)内容

- ・医療安全に関する各委員会の活動状況, 取り組み内容及び効果等に関する評価
- ・インデント, アクシデントの分析・対策評価
- ・医療安全に関する情報の収集及び情報提供
- ・医療安全情報の周知方法の検討, 遵守状況の評価
- ・医療安全管理に関する職員研修の検討及び実施



## 6 (1) -16 認定看護師会

### 1. 目的

病院の専門機能の充実を図るために、認定看護師としての役割を果たす。

### 2. 委員

総看護師長，副総看護師長，認定看護師（緩和・化学療法，感染，皮膚排泄）

### 3. 目標

認定看護師としての自覚を持ち，外来，病棟看護師への実践・教育・相談を通し，看護の質の向上を目指す。

### 4. 活動報告・実績

- ① 毎月第2火曜日の午後16時から定例会議を行った。
- ② 各セクションの依頼を受け，勉強会を行った。
- ③ 院外研修の講師依頼を受けた。
- ④ 各病棟のカンファレンスへの参加や，スタッフからの相談を受けた。

## 6 (2) 会議等開催状況

開催年月日	会議等の名称	開催場所	主な出席者	出席者数	備考
24. 5. 19 ～ 20	がん診療に携わる医師 に対する緩和ケア研修 会	薩南病院 大会議室	研修生 見学・視察者 薩南病院関係者	17名 2名 32名	
24. 7. 24	ふれあい看護体験	薩南病院 大会議室	高校生 薩南病院関係者	13名 8名	
24. 11. 11	県立薩南病院市民講座	南さつま市 ふれあいかせだ いにしへホール	南さつま市民 薩南病院関係者	190名	
25. 2. 7	救急医療を語る会	薩南病院 大会議室	南薩地区消防組合 南さつま警察署 薩南病院関係者	31名 4名 31名	

## 6 (3) 各種実習生受入状況

各種看護師養成機関及び南薩地区消防組合等の実習施設として、下記のとおり実習生を受け入れ、看護師及び救急救命士等の育成に努めた。

(単位：人)

看護師養成施設等名	人員	延人数	実習期間	備考
鳳 凰 高 校	17	202	24. 4. 10～24. 4. 26	
鹿 児 島 医 療 技 術 専 門 学 校	1	50	24. 5. 7～24. 7. 31	理学療法臨床実習
南 薩 地 区 消 防 組 合	2	30	24. 5. 7～24. 6. 1	就業前病院実習
鳳 凰 高 校	17	196	24. 5. 8～24. 5. 24	
長 崎 国 際 大 学	1	54	24. 5. 14～24. 7. 27	薬学部病院実務実習
鳳 凰 高 校	16	250	24. 5. 29～24. 6. 22	
鹿 児 島 医 療 技 術 専 門 学 校	1	42	24. 6. 1～24. 7. 31	診療放射線臨床実習
鹿 児 島 医 療 福 祉 専 門 学 校	2	6	24. 6. 13～24. 6. 15	
鳳 凰 高 校	17	201	24. 6. 25～24. 7. 12	
鹿 児 島 医 療 福 祉 専 門 学 校	13	13	24. 6. 26	
上 村 内 科 ク リ ニ ッ ク	1	19	24. 7. 17～24. 8. 11	
城 西 プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル カ レ ッ ジ	1	8	24. 7. 23～24. 7. 31	調理実習
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	2	20	24. 8. 20～24. 8. 31	臨床栄養学実習
鹿 児 島 純 心 女 子 大 学	2	20	24. 8. 20～24. 8. 31	臨床栄養学実習
鳳 凰 高 校	12	204	24. 8. 27～24. 9. 14	
崇 城 大 学	1	54	24. 9. 3～24. 11. 16	薬学部病院実務実習
鳳 凰 高 校	15	44	24. 9. 25～24. 9. 27	
鹿 児 島 医 療 福 祉 専 門 学 校	14	69	24. 10. 1～24. 10. 5	
鳳 凰 高 校	18	209	24. 10. 5～24. 10. 25	
鹿 児 島 医 療 福 祉 専 門 学 校	15	176	24. 11. 2～24. 12. 3	
鳳 凰 高 校	11	172	24. 11. 5～24. 11. 29	
鳳 凰 高 校	35	418	25. 1. 8～25. 2. 22	
南 薩 地 区 消 防 組 合	7	21	25. 1. 16～25. 1. 30	救急救命士看護実習
県 防 災 航 空 セ ン タ ー	3	3	25. 1. 21～25. 1. 23	救急救命士看護実習
県 消 防 学 校	4	4	25. 2. 14～25. 2. 15	救急科教育に係る病院実習
計	228	2,485		

(注) 実習期間ごとにまとめて記載すること。